マンガの眼③

勝又進の四コママンガ

梶井・純

「四コママンガ」が嫌いではない。つまらない劇画作品より新聞の四コマをみているほうがいい。いま「四コママンガ」でもっとも注目されているのは、いしいひさいちだろう。たしかに、いしいの描く四コマは、独特の論理をもっていて、様式としての「四コママンガ」によくみかける完結性とはちがうふくらみをもっている。それにくわえて、作者自身が一人称と三人称の中間にいて登場人物ともなっているような、おだやかな視角もなかなか新鮮な魅力がある。

しかし、わたしがいま、いちばん気になる四コママンガは、勝又進の作品である。「気になる」という、いいかたは、ふつうかなり屈折した感想をふくんでいる。このばあいもそのとおりで、たとえば、いしいの作品と勝又の作品を同時的にみるようなとき、七〇年前後の勝又作品との落差が明確にみえる。

『漫画大快楽』(檸檬社)に、ちょうど勝又進の「冗談画廊亭」と、いしいひさいちの「おじゃ漫むし」と題する四コママンガが連載されている。いしいの作品は、「バイトくん」などにくらべると、いっそう衛生無害な穏健さをもっており、いい作品がそろっているとはいいにくいが、勝又作品もまた、その意味では、それ以上の不満がのこる。

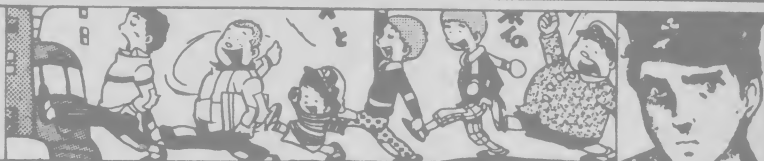
端的にいうと、かつての勝又作品(もちろん四コマ作品)にながれていた、人間存在にたいする嫌悪と好意、愛と憎しみといった思想的な相克がすっかり希薄になってしまっている。かつて本誌に描きついでいった四コママンガにかならずひそんでいた勝又のけわしくも皮肉な視線は、どこへいったのか。いま「気になる」といったのは、そうした意味である。

勝又の四コマ作品のなかで、むかししばしば描かれ、最近作ではけっしてみることのできないモティーフがひとつある。じつは、それがかれの作品の転回の大きなカギとなっている。一〇年まえからの『ガロ』の読者なら記憶しているにちがいない。「薄氷」「僧都」「雪ざらし」「厳冬」「採氷場」「冬の月」などと題された一連の四コマ作品がそれである。これらは、いずれも天然・自然を観照的に描いた作品で、いってみれば、人間への不信の根源をしたたかにみてしまった作家にとって、ただひとつひらかれていたみちだった。

嫌悪すべき人間存在を天然・自然のなかに相対化して描こうとする意志がそこにあったと思われる。最近作の「子消し」(『カスタムコミック』創刊号)のように近年の勝又進がよく描く中・短編作品は、その延長線上にたんなるパターンとして現われてきたにすぎない。

最近目にした勝又評で、「(四コマ作品の)作風はどろ臭く、……農村を背景とした民話ふうの作品も多い。……(それらは)民話の発生する生々しさを描いていておもしろい。」(呉智英)というものがあった。勝又進の本質とはちがう地平で、こういう読みまちがいをされていることを、勝又自身はどう思うだろうか。おそらく、それをひらきなおって肯定することは、かつての勝又進がたたかっていた悪戦からなしくずし的に後退していったことを認めることでもあるだろう。勝又へのわたしのファン・レターがあるとすれば、みずからをふくめて人間存在のもつ、おろかしさやあつかましさにたいする毒のこもった視線の復活を期待したい。

振替東京0－135477

物一覧表

現代漫画家自選シリーズ〈〒各200〉

風っ子 永島慎二 ¥600
永島慎二が謳いあげた抒情マンガの決定版！

わら草紙 勝又進 ¥600
農村の風情を背景に人の世のはかなさを描く

腹笑死 黒鉄ヒロシ ¥480
あの黒鉄ヒロシが読者にさらすアレとソレ！

ホンダラ部落 砂川しげひさ ¥480
飄々とした描線にのせて贈るナンセンスの極地

鬼面石 つげ義春 ¥600
「ねじ式」の世界への旅立ちを告知する秀作選

仕末妻 平田弘史 ¥480
平田弘史が哀歓をこめて描く血まみれの武士道

男一発 辰巳ヨシヒロ ¥480
辰巳作品の根底に漂う無気味な亡霊を探り出す

怪人二重面相 高信太郎 ¥480
これぞ驚異のゴロ合わせ高信マンガの大行進!!

日本チャンバラ伝 高信太郎 ¥600
血湧き肉おどる、コーシン・コーダン

岩本武蔵 岩本久則 ¥480
不条理とアルセンス二刀流宮本ならぬ岩本武蔵

乱華抄 上村一夫 ¥600
青い季節は哀しくて、汪乱殺子にしのび泣き

おえんの恋 池上遼一 ¥480
炎と化した江戸の町、女が一人情炎に燃え盛る

蒼き狼の咆哮 佐藤まさあき ¥480
19才は死刑にならない都会を彷徨する殺人者達

マタギ列伝 矢口高雄
奥羽の山脈奥深く展開される狩人たちと野性動物のドラマ・大自然を力強く描き続ける矢口高雄がおくる話題の大河ロマン
巻の一 ¥600 巻の二 ¥600 巻の三 ¥580
巻の四 ¥580 巻の五 ¥580 巻の六 ¥680

セックスピア喜劇 はらたいら ¥540
はらたいらオハコのポルノ節が山盛り満載！

よくふか頭巾 永井豪 ¥540
根性と執念の男、よくふか頭巾は今日も行く～

仮弔封血 ¥600
長編大ロマン真崎源氏の誕生なる

狂葬剣記 政岡としや ¥580
のってるマンガ家政岡としやの佳作短篇集

黒衣の妖女 平野仁 ¥580
鬼才平野仁が秀麗なタッチでおくる快作

与太 ほんまりう ¥580
古き良き時代を背景に姉弟愛を描く新鋭秀作

血染めの紋章 かわぐちかいじ 第一部 ¥580 第二部 ¥580
2・26事件を克明に描写する俊英力作

陽炎 青柳裕介 ¥540
デビュー当時の作品で綴る青柳作品の原形

喜劇新思想大系 山上たつひこ
狂気の天才山上たつひこの最高傑作全六点！
正・続・続々・続々々
各¥580

風の吹く街 永島慎二
出会い・別れ
人生の一瞬をとらえるユマニスム
¥1800 〒240

永島慎二傑作集・全四巻
過去20年間、私達に贈られたすがすがしい感動の数々。
各¥1500 〒200

リリィのブルース 永島慎二
オチャメで優しいラブストーリィ
¥2000 〒200

林静一作品集
マンガにアニメに異彩を放つ林静一のすべて！
¥1600 〒200

つげ義春作品集
映画、演劇、小説、詩の分野にまで強烈な衝撃を与えたつげマンガの集大成。
¥3000 〒280

水木しげる作品集
むなしさをもってあらゆる分野の価値観を爆破する水木マンガ
¥1000 〒240

〒101 千代田区神田神保町１の62

青林堂出版

青林傑作シリーズ

各￥1200（〒各200）

①②フーテン 上巻・下巻
永島慎二が君に語りかける、青春の喜びと悲しみ。

③寺島町奇譚（品切） 滝田ゆう
代表作「寺島町奇譚」シリーズを収めた滝田マンガの結晶。

④黄色い涙―若者たち―
永島慎二がやさしい若者たちに送る友情の記。

⑤だめ鬼 村野守美
人生の機微を描いて温かく感動を呼ぶ絶妙の職人芸！

⑥㉑そのばしのぎの犯罪 第一・二部
永島慎二最新意欲作！

⑦⑪⑮⑲狂人関係 第一～四部 上村一夫
画狂北斎をめぐる鮮烈な人間像

⑧青春相続人
宮谷一彦が現代に問う青春論

⑨花いちもんめ 永島慎二
ナタ政とゆかいな仲間たちがくりひろげる、痛快下町メンコ戦争！

⑩白い伝説
伝説ゆきおんなを描いて、鬼才真崎守がハーンを超える。

⑫泥沼――どぶだめ
巨匠村野守美がしみじみと人生を物語る、好珠玉短篇集！

⑬港野郎にきをつけろ！
鮮かに甦る、永島慎二初期作品集

⑭親不知讃歌（おやしらずさんか） 松本零士
敷井高志14才、親の知らない世界もあるこれはその親の知らない物語……

⑯よさこい節
郷里・南国土佐を舞台に、デビュー当時の青柳裕介が描く珠玉短篇集！

⑰秘戯御法 ひぎぎょほう
巨匠村野守美が性の深淵をえぐる!!

⑱おせん
ひたすら漫画に命を燃やし若くして逝った楠勝平珠玉遺作集

⑳媚薬行 村野守美
欲望に操られる人生、媚薬に託した人の哀れ

㉒ブルーセックス 川本コオ
上目遣いのアングルに少年期の息遣いが鮮やかによみがえる

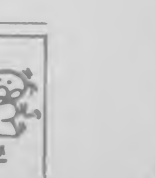
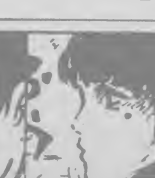
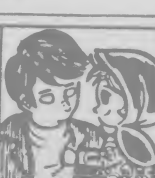
㉓六の宮姫子の悲劇 つりたくにこ
酔狂な愚者達が演ずる、悲劇的喜劇の惨劇

㉔龍神 村野守美
男の鬼気と女の情気の確執!! 鬼才が描く名匠の世界!!

現代漫画論集 石子順造・梶井純・菊地浅次郎・権藤晋 共著 一、二〇〇円
幻の評論雑誌「漫画主義」に発表された論稿を収録。漫画評論の原点を成す論文集。

つげ義春の世界 赤瀬川原平・唐十郎・鈴木志郎康・吉増剛造 他共著 一、二〇〇円
つげ義春の魅力を徹底的に解剖した、16名の豪華メンバーによる評論集成

櫻画報大全 赤瀬川原平 著 ￥3000 〒240
名著・櫻画報の最終決定版！

虚構の神々 ￥2000 〒200
UFO！現代の謎を追って奇才・赤瀬川原平が快刀乱麻を断つ！

その昔、荒木一郎の細くてしなやかな指が伊佐山ひろ子の裸の体をはう場面を、あたかも、傷つきやすいフィルムを一コマずつ選びわけてはつないでゆく作業のように繊細に、スリリングにとらえていた村川透のことだからと期待していたが、『白昼の死角』にはあっさりと裏切られてしまった。この映画には、どこにもドキリとするようなところがなかった。ただ一ヶ所、鬼頭史郎サンが出てきて、ノー天に響くような声をあげる場面以外は。

　理由はいろいろあるだろう。原作が長く、登場人物が多く、その出し入れと整理に相当のエネルギイをとられるとか、その他あれこれ。そして、それらをひっくるめて、映画としてのおもしろくなさの最大の責任は、自分なりの「悪意をこめて」、クツクツ笑いながら撮っていたといっぱしのことをいう村川監督自身にあることはいうまでもない。あの映画のどこに「悪意」などあるのか、それは人の好い監督の甘えた思いこみにすぎないのではないかと、わたしなどは思ってしまうが、ここでは映画のことを書くのが目的ではないので監督のことは敢えて問わない。とすると、この映画をおもしろくなくしているのは、それが詐欺を素材にしているということが、一番大きな理由ではないかと思う。金を騙しとるというのは、実際のこととしてもまた想像してみても、相当におもしろそうなのだが、映画という、眼に見えるかたちにすると、どうもおもしろくないのだ。それは、騙すということそれ自体が映画の根本に関わっているという事情によるのだろう。人の眼をくらまして、時間や場所を自在に扱うことが詐欺の第一歩だとしたら、映画こそは詐欺の王であり、ここでは、詐欺師の孤独は演技を、誰もが、総がかりでやっているのである。そのなかで、詐欺の話をやるとしたら、それは、映画を主題に映画を作ると同じくらいの批評意識を持たなければ、とうていやってられないはずだ。詐欺師のお芝居をしたくらいでは、どうにもならないのである。

目安箱163 嗚乎！お金

上野昂志

　だが、再び映画の話にのめりこまないために、ことをもう少し単純化していおう。だいたい、お喋りするだけで金をとるというような話は、たとえその金がトランク一杯あったとしても、てんでおもしろくないのだ。つまり、表現された金などというものには、なんの魅力もないということだ。金をとる話がおもしろいのは、それをとるまでのアクションがおもしろい場合に限るのである。

　絵に描いた、あるいはフィルムに映された金は、モチの場合と同じく少しもおもしろくない。これがおもしろくなるには、金が、赤瀬川原平の千円札のように、ブツになるときだけである。わたしたちは、写真の金に、いや、より正確には、写真の紙幣に、少しも欲望をそそられないのである。これは自明の事実だが、しかしよく考えてみれば、奇妙である。何故なら、わたしたちは、写真あるいは映画に映っている裸の女性には、多くの場合、欲望をそそられるからである。それによっては、直接には少しも欲望を満されないという点では、金でも女でもまったく同じであるのに、この違いは、何によるのか。ついでにいえば、絵に描いたモチの場合は、裸の女性のほうに分類するほうが正しいということは、わたしの飢えがそれを証明している。

　これは、どういうことなのであろうか。再び映画にひっかけていえばポルノ映画は成り立つが、お札映画というのは成り立たないか、成り立ってもきわめて困難であるということだ。それをするためには、赤瀬川がかつて試みたような手続きが、映画の場合にも必要だということである。いったいどうしてなのか。

　映画、あるいは写真、あるいは絵つまりは表現された金というものには欲望をそそられないというのは、紙幣というもの自体が、すでに、国家を媒介にした集団的な想像力の産物にほかならないからではないか。いわば、それ自体が媒介的なものについては、直接に触れることからしか、我々の想像力は動き出さないの

ではないのか。これが表現されてしまえば、わたしたちはそれと意識せぬ間に、紙幣というものが媒介的なものであるということに、だから眼の前に現われているのは、その二重化された像にすぎないということに、気づかせられてしまうということではないのか。ことばで書かれているときには違う。トランク一杯の紙幣というときには、わたしたちは、ポケットのなかのたった一枚の紙幣から、現実の紙幣を想像して、一億円なら一億円の金を想い描き、それを手に入れることを夢想する。この場合は、裸の女の写真と同じような作用をする。ことは微妙に重なりながら、微妙にずれるのである。

たとえば、裸の女の写真を前にしてわたしたちが欲望にとらえられるとき、わたしたちは、観念において自己とその「女」とを同じ空間におく。人によっては、それが「女」ではなく、「男」であったり、エナメルのブーツであったりするかもしれないが、ありようは同じだ。しかし紙幣の写真を前にして、そのような観念のうちに身を置くことは、何故かできないのである。女の写真ならば、写真が観念の扉を開くのに、紙幣の場合は、むしろ写真が邪魔をするのである。いっぽうでは、何十万あったらとか、何千万あったらとか、まったく手ぶらで夢想するのにもかかわらず、である。同じように想像力に関わり、観念に関わるものでありながら、セックスの場合と金の場合では決定的に違うのだ。それというのも、紙幣が、もともと観念の産物だからであろう。それは、何でもないものの像でしかないから、写真や絵や映画で二重に像化されたときには、もはや観念を刺激しないのである。

このことは、実は、もう少し精密に考える必要があると思う。たとえば虚と実というところでいうとすれば、紙幣の奇妙さは、それが徹底して虚の存在であることによって、この世の現実にあっては、徹底した実物以外は、我々の想像を刺激しないということにある。この逆説は、現実態としての金のカラクリにも関わっていると同時に、我々の想像力のあり方にも関わっていると思うのだが、そのあたりは、もっと緻密につめる必要があるだろう。だが、それを宿題としたうえで、わたしがこんなことをいってきたのは、我々の現在において、あるいは銀行強盗が連日のように起り、保険金殺人が行われ……というように、実際のこととして、金がむき出しになっており、しかもそのことは、我々の日常と少しも離れておらず、オレだって強盗をやるかというくらいになっているにもかかわらず、我々の、あるいはその周囲を取りまく表現の世界では、その実際をほとんど少しもとらえてないと感じているからなのである。いや、テレビのドラマにせよ、映画にせよ、大衆小説にせよ、実際に起っている「事件」に似たようなものはいくらでもある。というより、それらの表現は、むしろ、しゃかりきになって現実を真似しようとしているといってもいい。しかし、それらは、ほとんど、借金に困って郵便局に押し入ったなどという新聞記事が想像させるような、その行為への共感を喚起することはないのである。常に説明であり、よくできたお話しなのである。つまり、写真や映画に映された紙幣と同じように、少しも想像力を刺激しないのである。いや、ことはそのような物語の類にとどまらず、このような社会を論ずるさまざまのことばが、たとえば新聞の論説から雑誌の論文に至るほとんどが、おおむね表現された金の水準にしかないのだ。そこにはさまざまな理由があると思うが、肝腎なところには、紙幣そのものと、それにまつわる想像力に対する考察が、まったく欠落しているということがあるのではないかという気がする。ことは、金を写すことにもなければ、金に対する欲望を映すことにもないのだから。しかし誰もが、金を、裸の女性をとらえるようにしか表現していないのである。

管野修が心に与える感動!!

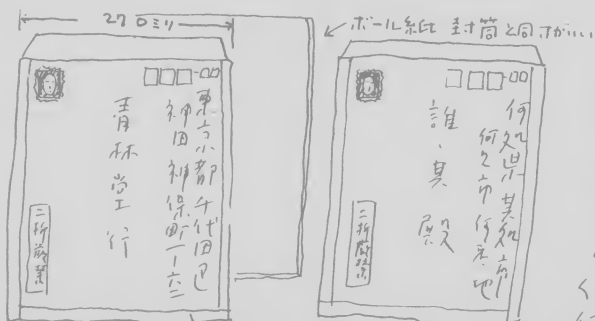
まどのかずや（寝屋川）

最近、私がとみにおもしろく思って拝見している漫画に、管野修さんの作品があります。変に生暖かい漫画がはばをきかしている昨今、管野さんのフジャフジャの絵が心に与える感動はいい知れぬものがあります。今、あの絵がぞんぶん描ける人は時代に正直な人だと思います。私はあの無茶苦茶な絵こそ、現代に生きる私達の心そのものという気がして管野さんの鋭敏さに頭が下がります。多くの人は絵をまとめ上げてしまって、世間に対して外面を作っています。漫画家までがポーズを作って小さくまとまってしまいます。そんなものはサラリーマンの背広の様なものだと私は思います。「ガロ」の中でも、川崎さんや渡辺さんの様に格好を気にせず思いきり自分らしいものを描いたのがおもしろいのです。何かしら初めからスタイルを気にして描いた様な小ぢんまりした漫画をいつも見受けます。商品的でカッコいいですが、それらは見た目が現代的であっても、現代人を感じません。私達がモロに私達を感じてシビレようとすれば管野さんの描き方が今のところ一番進んでいると思います。直接、直感的にシビレなくては、この時代の表現として通用しません！〝カタチづくる事〟は重要ではないと思います。〝頭の考え〟などでブレーキをかけたなら、時代に追いつけないでしょう。非常に僭越ですが、管野さんももっと〳〵古い文学臭を捨て、現代の尖端に立って今の人々をシビレさせる表現を進めてほしいと思います。私は描いてある事柄が、いくら現代的であっても、漫画が進んだのとは違うと思います。伝統が今描かれなければならないものを含んでいないのが現代だと思います。そういう意味で皆さんも、もっとハチャメチャにやってほしいのです。〝一作品〟など屁の様なものですから思いきってやりましょう。以上ごちゃごちゃしてしまいましたが、管野さんのは「神無川の岸辺で…」が、傑作だと思います。頑張って下さい。管野さん頑張って下さい。

ガロ投稿作家の諸氏へ

ガロへ投稿するに当って留意すべきこと。

① 原稿料が出ない
これは はなはだ遺憾の事態ですが事実です
正常化へ努力しているところですが、もう少し時間がかかる見込み。これは大事の事ですから よくよく考えてから投稿して下さい。

② 返却用封筒（切手貼付）の入っていないものは返却しない。（下記のようにして下さい。）

③ 原稿は必らず タテ27.3cm ヨコ18.2cm（これは仕上りの1.2倍です）の寸法で

④ 墨汁または製図用インク（黒）を使用し中間の調子を必要とする場合はスクリーントーンを貼り込む。（うす墨によるボカシは不可）

⑤ セリフやナレーション（これをあわせてネームという）は鉛筆で読みやすく書く

⑥ 送り先は「東京都千代田区神田神保町1-62 青林堂」

⑦ なぜ投稿するのかもう一度考える事。

編集部では今までにない画期的に面白い作品が欲しい。ただし「今までにない」「画期的な」という部分のみをあてこんだ作品は概して「面白くない」自分が感動したマンガ、好きなマンガが何故感動させるのか好きにさせるのかをもう一度考えてみることをおすすめする。

通信欄

●永島慎二の「漫画のおべんとう箱」を、1万円位でお譲り下さい。「フーテン」（限定版）を、2万円。〒270松戸市中和倉304—7 〈井手秀夫〉

●求ム「まんがNo.1」73年2月号、付録の有ること。〒338浦和市上木崎2—11—3 〈小幡一夫〉

●'71年頃の「COMコミックス」を適価で、「まんがNo.1」の第2巻1、3、4号を抜かす全巻を適価で、「マンガ少年」'76 10・11・12 '77 6・7・8を適価で、諸星大二郎の単行本今のでも昔のでも適価で、だっくすの'78 8・9・10それとそれ以前のもの適価で。以上を当方の絶版本、手塚の本と交換もまた可。〒189東村山市本町2—23—13 〈野沢信平〉

●S37年 弘文堂刊 手塚治虫挿絵の〃21世紀への旅行〃適価で譲ります。まずは希望価格明記の上、往復ハガキで連絡ください。〒710岡山県倉敷市安江552—19 〈後藤慎二〉

●北冬書房刊「限定版つげ義春選集」第3巻〜第6巻までを譲ります。希望価格を書いて連絡を。〒472愛知県知立市山屋敷町高場11の1 〈間瀬朋哉〉

●小学館版 手塚治虫全集全40巻揃いお譲り致しますので、希望価格をご連絡下さい。〒176練馬区旭町2—23—3 〈片山雅博〉

●ガロ'65 2月号より約100冊（ところどころぬけています）まとめて売ります。「COM」（虫プロ）'71年版7冊まとめて売ります。両方共、美本少なし。手渡し可能な方希望値段を連絡下さい。〒184小金井市前原町3—29—22 ☎0423（83）6578 〈八木沢重之〉

●ガロS48年12月〜54年4月号、夜行①②④⑤⑥⑦他。適価にて譲ります。面倒なので手渡しできる方電話下さい。旭川市忠和6の7 ☎61・2571 〈中西揚一〉

●「鈴木翁二作品集」「佐々木マキ作品集」、手塚治虫の虫プロ出版物又は付録を適価で譲って下さい。〒023岩手県水沢市大橋34—9 〈雨森亮太〉

●ふしぎ旅行記・地球一九五四・手塚傑作集他。以上を白土B6・横山・うしお・馬場・藤子・松本・水野・モリミノル他著名作者カンケーのものと交換希望。返信切手同封の事。〒662西宮市獅子ケ口町10—6 〈津田毅〉

●二見書房、昭和漫画傑作集、つげ義春著、『懐かしいひと』を持ってる人送料とも千円で売ってくれませんか？〒830福岡県久留米市高良内町498の5 〈渡辺次郎〉

●松本零士「電光オズマ」（虫プロ）1・2巻、牧美也子「マキの口笛」（虫プロ）1〜3巻、藤子不二雄「シルバークロス」（虫プロ）1〜3巻その他の虫プロの本を適価で譲ります。またアニメレコード、掘江美都子さんに関するものと交換も致します。〒472愛知県知立市山屋敷町東山11の8 〈石田秀一〉

ゴシップ

●本誌にも広告をいただいている、宝島から『別冊宝島⑬マンガ論争！』が刊行された、内容は、ぼくらの時代の評論家**村上知彦**先生のアリガタイ巻頭言にはじまって、**津村VS稲葉**論争アンソロジー、マンガアンケート☆総合誌・文芸誌編集長コメントには、**嵐山光三郎**こと平凡社『太陽』編集長**祐乗坊英昭**氏の正しい意見が、作家論では三流の**亀和田武**氏の石井隆論、早大漫研**吉岡宏**君の『ぼくはまだ〃**ガロ的な**〃ものにこだわりつづけたい』では**茂谷、いづみ**さんのことが論じてある、さらに**呉智英**氏の原稿用紙にして百枚の力作『大ニッポンマンガ家列伝』ではガロのことやぼくの大好きな**谷岡ヤスジ**のことが書いてあります。これからガリ版や簡易オフのアマチャ理論誌を起こそうとする高校生大学生は買うべし。

ぼくは
アマチャやだよ
今度理論誌を
出すんや

●先月号『青林傑作ニュース』およびゴシップ欄で新入社員の**和泉**君のことをマチガエて**泉**君にしてしまいました。御家族、御親族の方には申しわけないことをしてしまいましたスイマセン。
（和博記）

大好評！　村野守美　の単行本

青林傑作シリーズ⑳

媚薬行

Ａ５判上製240頁　定価1200円

青林傑作シリーズ⑰

秘戯御法

Ａ５判上製　定価1200円(〒200円)

青林傑作シリーズ⑫

泥沼

Ａ５判上製　定価1200円(〒200円)

青林傑作シリーズ⑤

だめ鬼

Ａ５判上製　定価1200円(〒200円)